大空に咲く パラグライダーの花

「私は子供の頃 平泳ぎで空飛ぶ夢をよく見ました」

「そのせいでしょうか」

作画 西島淳之介

①

「天草郡有明町 生まれの海育ち でしたが」

いつの日か この大空を 自由に飛んで みたいなあ

「天空へのあこがれを ずっと抱いていました」

②

そう語るのは現在 俵山パラグライダー スクール「火の鳥」の 校長山本賢一さん

人呼んで「ヤマケン」さん

昭和四十九年 アメリカから ハンググライダーの プロが来日 富士山から フライトした

これだあ！

テレビ中継があった

これなら オレにも 出来るぼい！

と思ったものの 当時日本では 手に入るはずもなく

これで子供の頃からのユメが

アメリカ ロサンゼルス まで買いに 行きました

本職は 建築業

たっ たっ たっ

しかし休日は せっせと山通い

ぼてっ

そして

おっ たっ

③

見事独学で ハンググライダーを マスター

やったあ〜♪

阿蘇・九重の山々を 飛び回った

自称 空飛ぶ フッシ(ラ)マン

きもち いい〜

もっとも あちこちの 山で

墜落も経験 しましたケド

いろんな機体にも チャレンジ 飛行技術を 磨いていった

そして昭和六十年 八代で行なわれた 航空祭でのこと…

凧で引っぱるソフトグライダー

ほー

これは 面白いもの が登場したなあ

④

までよあれで ハンググライダー のように 斜面から飛べ ないだろうか？

ヒラメキ！

どっこいしょ〜〜〜

ということで 阿蘇俵山で いきなりのチャレンジ

この時すでに 飛行歴十年の ヤマケンさん ウデを生かして 見事に成功

そしてこれは まだパラグライダー という名称もない時の 日本人による国内 初飛行となった

これは いいぞ！

改良が進めば 誰でも手軽に 空を飛べるに 違いない！

半年後には パラグライダースクール 「火の鳥」を開設 予想は当たり あっという間に パラグライダー 愛好者は 全国に増えていった

⑤

わ〜〜〜〜

バキッ バキッ バキッ

まったく ヤマケンさんが 死んだぞーっ

バキッ バキッ バキッ

ハンググライダー から数えて実に 入院六回 計七百五十日

落下やケガは 数知れず

あなたは ケガするために 生まれて 来たのネ

カンコさんも 泣いたぞ〜な

⑥

「お前は生かされて いるんだ。そろそろ 人のためになることをやれ」

「何度か死にかけ 生き返った私は そんな天の声を聞いたような 気がしていました」

南面の地形 風向き… まさに天然の 良港！

ここだ ついに見つけ たぞーっ!!

子供からお年寄り 初心者からベテランまで 安全に楽しく フライト出来る 場所を捜して いたのだった！

思い立ったら 即行動のヤマケンさん 俵山に土地を借り(一部購入) 自力でランディング場付き クラブハウス 「アイランド俵山」を 建ててしまった

よーし、 会社をたたんで ここに移り住む ぞーっ!!

※離地場

うーむ やはりあそこには 危険な※ローターが あったか

※風の乱れ

よーし次は あそこと あそこと あっちの山で…

次々と新たな 空にチャレンジ

それには 彼の熱い思いが 秘められていた

⑦

はーい そこで 右を引いて

はい左 ——！

「風を読む」と ヤマケンさんは 言う

飛行歴二十年の経験は 風を予測し、あらゆる 事態に対処する技を 培かった

俵山は一年中 飛べるスポットとして 年々人気が 高まっています

今や 日本全国から フライヤーが やって来ます

中には こんな方々も

歌手 森川由加里

カンタン カンタン 人生観 変わっちゃ ました

元プロテニスプレーヤー 佐藤 直子

女優 大場久美子

その能力を生かし たくさんの人々に スカイスポーツの 楽しさを伝える

これが今の ヤマケンさんの 喜びだ

⑧

「鳥の目で地上全体を見ると 人間、考え方生き方さえも 変わるものなんですよ」

この地を鳥人間最大の スカイエリアに育て たくさんの子ども達にも この体験をさせたい

そして熊本の自然を 満喫しながら楽しく遊ぶ パラグライダーフェスティバルも 開きたい…

パラグライダーは 自然にやさしい スポーツです

体験を通し 大地を自然を 愛する豊かな 心を どんどん 広めたいですね

ヤマケンさんの夢は 高く高く 上昇気流に乗って どこまでも——